

| | | | | |
|--|--|--|---|---------|
| 釧路工業高等専門学校 | 開講年度 | 令和04年度(2022年度) | 授業科目 | 微分積分学特論 |
| 科目基礎情報 | | | | |
| 科目番号 | 0070 | 科目区分 | 一般 / 選択 | |
| 授業形態 | 講義 | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 1 | |
| 開設学科 | 電気工学分野 | 対象学年 | 4 | |
| 開設期 | 前期 | 週時間数 | 2 | |
| 教科書/教材 | 教科書 : 大学編入試験問題 数学/徹底演習 第3版 (森北出版) の数学2・3問題集 (森北出版) | 補助教材 : 新 微分積分 I・II (大日本出版), 高専 | | |
| 担当教員 | 小谷 泰介,上別府 陽 | | | |
| 到達目標 | | | | |
| 1. 微分の問題を解くことができる 2. 積分の問題を解くことができる 3. 偏微分の問題を解くことができる 4. 重積分の問題を解くことができる 5. 微分方程式の問題を解くことができる | | | | |
| ループリック | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 | |
| 評価項目1 | 関数の連続性、微分可能性を調べることができる | 様々な方法で、微分の計算をすることができる | 微分の計算ができない | |
| 評価項目2 | 微分積分の基本定理を用いた問題を解くことができる | 様々な方法で、積分の計算をすることができる。 | 積分の計算ができない | |
| 評価項目3 | ヘッシアンが0になる点での極値を判定できる | 2変数関数の極値・最大値・最小値を求めることができる。 | 2変数関数の極値を求めることができない | |
| 評価項目4 | 2つの曲面が交わってできる立体の体積を求めることができる | 様々な方法で、重積分の計算をすることができる | 重積分の計算ができない | |
| 評価項目5 | 変数変換を用いて、微分方程式を解くことができる | 1階および2階線形の微分方程式を解くことができる | 微分方程式が解けない | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | |
| 学習・教育到達度目標 C | | | | |
| 教育方法等 | | | | |
| 概要 | 大学編入(高専専攻科進学)を目指す学生を対象に、微分積分の分野(微分、積分、偏微分、重積分、微分方程式)について、実際の編入問題をもとに詳しく解説する。 | | | |
| 授業の進め方・方法 | 授業では主に問題の解説をするので、各自、次回の範囲の問題を解いて準備しておくこと。 定期試験の平均点で評価し、60点以上で合格とする。60点以上の場合は、授業態度などを10%の範囲で加減する。再試験は行わない。 (関連科目) 2年数学A, 3年数学 | | | |
| 注意点 | 第2学年および第3学年で学んだ微分、積分、偏微分、重積分、微分方程式の知識を前提としている。 | | | |
| 授業の属性・履修上の区分 | | | | |
| <input type="checkbox"/> アクティブラーニング | <input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用 | <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応 | <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業 | |
| 授業計画 | | | | |
| | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | |
| 前期 | 1週 | 関数の連続性と微分可能性 | 関数の連続性と微分可能性を判定することができる | |
| | 2週 | 導関数の計算 | いろいろな方法で導関数を求めることができる | |
| | 3週 | 極限と連続性 関数の増減とグラフの概形 | 連続性を用いて、極限を求めることができる 関数の増減・凹凸を調べ、グラフを描くことができる | |
| | 4週 | べき級数と収束半径 有理関数の積分 | べき級数の収束半径を求める 部分分数分解を用いて、有理関数を積分することができる | |
| | 5週 | 三角関数・無理関数の積分 | 置換積分法を用いて、三角関数・無理関数を積分する ことができる | |
| | 6週 | 区分求積法 広義積分 | 区分求積法を用いて、極限を積分に直し計算する ことができる 関数の極限を求め、広義積分することができる | |
| | 7週 | 部分積分法による漸化式 微分積分学の基本定理 | 部分積分法を用いてできる漸化式の一般項を求める ことができる 微分積分学の基本定理を用いて、関数を微分する ことができる | |
| | 8週 | 前期中間試験 | | |
| 2ndQ | 9週 | 回転体の体積 陰関数の極値 | 回転体の体積を求める ことができる 陰関数を微分し、極値を求める ことができる | |
| | 10週 | 2変数関数の極値 | 判定法が使えない場合にも2変数関数の極値を求める ことができる | |
| | 11週 | 2変数関数の最大・最小 2重積分の計算 | 条件付き極値を用いて、2変数関数の最大値・最小値を 求める ことができる 2重積分を計算する ことができる | |
| | 12週 | 2重積分の変数変換 広義重積分 | 変数変換して、2重積分を計算する ことができる 適当な有界領域を作り、広義重積分する ことができる | |
| | 13週 | 立体の体積 | 立体の正射影を求め、2重積分を用いて立体の体積を 求める ことができる | |
| | 14週 | 3重積分 1階微分方程式 | 球面座標・円柱座標に変換して、3重積分を計算する ことができる 変数変換を用いて、1階微分方程式を解く ことができる | |

| | | | | |
|--|--|-----|---------|-------------------------------|
| | | 15週 | 2階微分方程式 | 右辺が積の形の定数係数2階線形微分方程式を解くことができる |
| | | 16週 | 前期期末試験 | |

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 |
|----|----|------|-----------|-------|-----|
|----|----|------|-----------|-------|-----|

評価割合

| | 試験 | 発表 | 相互評価 | 態度 | ポートフォリオ | その他 | 合計 |
|--------|-----|----|------|----|---------|-----|-----|
| 総合評価割合 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| 基礎的能力 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |